

# 守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会

連絡会事務局発行

## 守る会総会開

## かれる

七月十五日(土)、守る会の総会が開かれました。まずは、斉藤定時制部長から挨拶。「私の前任校の南多摩でも最後の入試だった。八王子で300ぐらい、夜間定時制の定数がなくなる。その分が府中、立川、町田あたりに流れるか。今常任委員会でも話をしているが、外国籍の子、ハンデイを持った生徒、の件や、今年の入学試験の分析、「同居」定時制の問題点等にも取り組んでいきたい」との発言がありました。

その後、今年度の定時制部常任委員会の「守る会」担当の二人が紹介されました。



た。(越前さ  
ん・江戸川、加藤さん・立川)

### 定時制は今・

まず初めに、昨年度まで長く都高教執行委員をされた多賀さんより、「都立定時制高校をめぐる最近の状況について」と題してミニ講演をしていただきました。以下、その要旨です。

(1) 定時制統廃合に関して言うと、来年度が最後の大きな山場になる。三区では普通科の定時制がすべてなくなり、中野地区チ

ャレンジ、杉並地区昼夜間ができる。八王子では四つの定時制がなくなり八王子地区昼夜間ができる。この二つの地区の矛盾が吹き出す可能性あり。この時こそ統廃合計画の不当性をアピールしていく必要があるだろう。(2) 夜間定時制の入試の件について。応募が定員を超え始めたのは2004年から。2006年は二次で不合格者が51人か？過去二年の不合格者に比べて今年の不合格者が少なかったのはなぜか。矛盾は激しくなっているはずなのに。また、同じ三部制の学校でも、昼夜間よりチャレンジのほうが人気が高いのはなぜか。チャレンジは学力テストをやらないからか。(3) 私立が進出している

ことを見るべき。私立の八洲（やしま）学園の例を見ると、2000年あたりから一挙に卒業生が三桁から四桁に増えている。クラスク学園もある。こういう学校では、二十五単位取るためには約二十五万円かかる。これらの学校は他校の在校生にも転校を呼びかけている。とても面倒見がよいとのこと。代々木高校という私立高校は「東京シユール」（不登校の会）とも提携している。NPOもある。都立定時制はそういう私立高校と競うことになるのかも。市場化しやすいのは定時制とか通信だったのかもしれない。「チャレンジ」の成功はまさにその先駆けだったのか？夜間定時制の「暖かさ・濃密さ」がわずらしい

と感じる生徒が増えている傾向も。「煩わしさのない」学校を求める雰囲気がある。改めて「働きながら学ぶ」意味の検証が必要。(4)「同居」問題。小石川や両国が移転させられた一橋や浅草高校がどうなっているのか。生徒が多くやめてしまう、ということはないようだ。生徒が無理をして順応しているためか、はっきりした形での破綻が見えてこない。同居したことによる問題点は確実にある。「あまり矛盾が見えてこない」からそれでいいとはいえない。今まさに問題点を洗い出さないと。武蔵定時ももうすぐ移転対象になる（武蔵、小石川、両国）。(5)定時制を守るとはどういうことなのか。今までと同じ運動では

むずかしい。該当校もだんだん減ってくるわけだし。「国連子どもの権利委員会勧告」の生かし方も考えていく必要あり。新たな視点、広い視野で定時制を守る運動をとらえ直していくこと。定時制が担うべき教育（少人数・アットホーム・スロ



ーペース・共生  
同・・・  
を検証  
して  
く必要  
がある  
だろう。

● 質疑応答・  
チャレンジの分析はい  
いととして、夜間定時制の  
良さをもう少し掘り下

げるべき。「濃密さ」ということがあったが、公教育という観点から見  
るべき。不登校だった生徒がいけるようになったのはいいが、その子  
どう育てていくかとい  
う視点が弱い。単位の切  
り売りは公教育とは両  
立しない。キャリア形成  
ができないまま、社会に  
放り出されるだけ。それ  
に対して公教育として  
の定時制が何をめざす  
のかを考えていかな  
い。

○ (多賀氏)問題提起であ  
る。夜間定時制の持つて  
いるものを検証したい  
ということ。  
● 失敗したものを都教委  
として検証しているの  
はないかという気がする。

また、人間関係の濃密さは魅力だが、それをよけたいという人たちがいることを見なくては、ということだが、ありのままの自分でいいんだと悟るまで時間がかかると思う。

●生徒の労働実態に関わって、どういう状況か。

○(多賀氏)ハローワークから見て、かなり危ない会社が増えていくこと。派遣も入れれば、半分からいは怪しい会社とのこと。でも、そういう会社もハローワークから来る。これも今後の課題。

### どのような運動を？

その後、05年度の経過報告が森代表より行われま

した。「都教委要請を行ったが、耐震の問題で話を詰め切れなかったので、要請後さらに三役で都教委の担当者と話をした。留年の問題とか、入試の結果の整理とか、同居に伴う問題点などを論議。不十分な答えではあったが、進級(留年)問題についてはそれなりの回答を得た。2006年二月に『国連の勧告』と人権救済申し立てについての学習会を持った(「学ぶつてなに?」)。全体として、入試の問題や両国の移転の問題などについて都教委と対峙してきた。この数年間を都

教委自身が総括しないといけない。要求はなかなか実現しなかったが、突きつけてきた問題点はそれなりに意味のあるものだったと思

う」  
皆さんで経過報告を拍手で了承しました。

続いて越前常任委員から、以下の五点にわたって方針案の提起がありました。①来年度の統廃合を前にして、該当校だけの運動ではなく、広げていく、②守る会の組織体制をどうしていくのかの検討、③補助金の存続を求め、④定時制を希望する生徒の全員入学の実現、⑤外国籍生徒などの取り出し授業の申請を認めさせる。また、97年以降、定時制振興策について都教委は何も提起していない。そのことも含めて、早急に都教委要請を実現していく。

方針案に関して、活発な



論議が行われました。

○・要請行動の柱として、移転問題は必ず

入れた方がいい。今度武蔵が移転になるのだから、チャイム一つとつても、ノーチャイムとかフロアごとにチャイムを変えるところとか煩雑になっていると聞く。

○移転に伴って、転学せざるをえなかった生徒は、(小石川、両国に)それぞれ一人ずついたのは事実。

○定期代がこれだけ上がった、とかいう具体的な

資料がないと要請時に  
インパクトがないので  
は？

○ 今、情報を集めたくても、  
個人情報保護法があつ  
て、ネットになつてい  
る。

○ 夜間定時制の位置づけ  
もはつきりさせてほし  
い。どういふ生徒が入  
ってくるのか。

○ 全体としては充足して  
いる、という論理を打ち  
返すためにも、地域の重  
要性を押し出していく  
必要あり。

○ 来年大規模な統廃合が  
進行するにつれて、留年  
問題がまたもや浮上し  
てくる。特に地域でい  
えば八王子の問題。

○ 移転の問題は必ず入れ  
る。具体的な要請項目の  
整理は幹事会で。振興策

を求めることも入れる。  
○ 今年度のイベントにつ  
いては？

○ 外国籍の子たちに光を  
当てるようなイベント  
を。コトバの問題を理由  
に首を切られるとか・。

○ 近県の組織との関わり  
とかで、彼らと集会をも  
てないか。

○ 神奈川から連絡あり。7  
月22日に柏で集会が  
ある。

○ ねらいは？

○ 連携を強めて元気にな  
るといふこと。いろいろ  
な意味でつながること。  
ただ統廃合反対だけで  
なく。

○ 八王子の中学と組合レ  
ベルで連帯して何かす  
るとかできないか。

○ ターゲットは生徒の動

きにむける。中学生に向  
けてのアピールとか。

○ 役員は留任ということ  
で。(代表・森さん・・・・)

○ 都教委要請は9月半ば  
くらいに設定か。幹事会  
で詰めていく。

以上の論議を受けて、拡



大幹事  
会を八  
月十二  
日に行  
うこと  
を確認  
して散  
会しま  
した。

